

2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月17日

上場会社名 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
 コード番号 4783 URL <https://www.ncd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下條 治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 加藤 裕介
 定時株主総会開催予定日 2021年6月28日 配当支払開始予定日 2021年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-5437-1021

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	17,563	4.5	242	74.1	388	59.2	145	77.5
2020年3月期	18,390	8.1	936	10.4	953	12.5	648	5.4

(注) 包括利益 2021年3月期 264百万円 (53.7%) 2020年3月期 571百万円 (18.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	18.11		3.6	3.5	1.4
2020年3月期	81.62		17.7	8.4	5.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	10,816	4,165	38.3	512.95
2020年3月期	11,617	3,913	33.5	490.66

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,140百万円 2020年3月期 3,896百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	218	142	61	2,721
2020年3月期	376	164	370	2,420

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		7.00		7.00	14.00	111	17.2	3.0
2021年3月期		7.00		7.00	14.00	112	77.3	2.8
2022年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00		25.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	9.3	650	168.0	670	72.3	450	209.0	55.99

詳細は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」に記載しております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	8,800,000 株	2020年3月期	8,800,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	728,932 株	2020年3月期	858,632 株
期中平均株式数	2021年3月期	8,036,600 株	2020年3月期	7,941,368 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	14,690	6.7	42	94.5	133	82.8	25	
2020年3月期	15,748	7.0	765	20.1	778	20.3	500	4.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	3.14	
2020年3月期	62.98	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	9,344		3,367		36.0		417.29	
2020年3月期	10,350		3,392		32.8		427.23	

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,367百万円 2020年3月期 3,392百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年6月2日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という）の影響により、極めて厳しい状況で推移しました。ワクチン接種の開始などにより経済活動の回復が期待されるものの、当面は先行き不透明な状況が継続するものと見込まれます。

このような状況下、当社グループの属する情報サービス業界におきましては、景気減速に伴いIT投資の抑制を打ち出す企業がある一方、労働環境の変化や中長期の成長を見据え、DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組む企業の増加傾向が続きました。当社グループにおきましては、このような企業のニーズを汲み取り、自動化・省力化ツールの導入や、旧来の基幹システムの刷新需要などに注力してまいりました。

自転車・駐輪場業界におきましては、緊急事態宣言の発出に伴い駐輪場の稼働率が低下しましたが、経済活動の段階的な再開に伴い、利用状況は回復傾向で推移しました。しかしながら、駅や商業施設に併設する駐輪場開設の中止や延期などが見られ、今後の動向を注視する必要があります。

当連結会計年度のIT関連事業（システム開発事業、サポート&サービス事業）においては、既存顧客の新領域獲得が伸長するとともに、サポート&サービス事業における利益率の改善が見られたことにより、前年同期比で大幅な増収増益となりました。

一方、パーキングシステム事業におきましては、駐輪場稼働率は回復傾向で推移したものの、第1四半期連結会計期間の大幅な売上減少が影響したことに加え、機器販売が低迷し、前年同期比で大幅な減収減益となりました。

なお、雇用調整助成金等の営業外収益175百万円、駐輪場設備に係る減損損失等の特別損失137百万円を計上しております。

以上により、当連結会計年度の売上高は、17,563百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益242百万円（前年同期比74.1%減）、経常利益388百万円（前年同期比59.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益145百万円（前年同期比77.5%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

システム開発事業

既存顧客に対するアカウントプランの推進によって、新領域獲得が堅調に推移しました。また、旺盛な業務効率化ニーズを背景に、会計シェアードサービスなどの導入が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。これらの結果、売上高7,405百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益928百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

サポート&サービス事業

保守・運用コストの削減を図る大手顧客からの受注や、生損保の既存顧客で培ったノウハウ活用による同業他社での新規案件獲得などが寄与し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、採算管理の徹底が浸透し、前年同期比で大幅な増益となりました。これらの結果、売上高5,072百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益481百万円（前年同期比115.0%増）となりました。

パーキングシステム事業

駐輪場利用料収入については、下表のとおり、時間貸駐輪場における売上高が、第4四半期連結会計期間において前年同期比約15%の減少に留まり、2021年2月1日時点の想定（前年同期比20%減少）より減少幅が縮小したものの、通期においては前年同期比約25%の減少となりました。

また、機器販売については、駅や商業施設に併設する駐輪場開設の中止や延期が発生し、大幅に減少したため、売上高は前年同期比で減収となりました。利益面におきましては、経費削減対策として、集金及びメンテナンス回数最適化や外部委託業務の内製化などにより、営業利益の減少幅の抑制に努めたものの、大幅な減益となりました。これらの結果、売上高5,060百万円（前年同期比24.4%減）、営業利益13百万円（前年同期比98.5%減）となりました。

（2021年3月期 時間貸駐輪場における売上高の対前年度比）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
2021年3月期の実績	約50%減少	約22%減少	約10%減少	約15%減少	約25%減少

（2）当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ801百万円減少し、10,816百万円となりました。減少した主なものは、リース債権及びリース投資資産の563百万円及びリース資産（純額）108百万円であります。一方、増加した主なものは、現金及び預金の224百万円であります。負債は、前連結会計年度末に比べ1,053百万円減少し、6,651百万円となりました。減少した主なものは、固定負債のリース債務581百万円、賞与引当金138百万円、流動負債のリース債務134百万円、未払法人税等123百万円及び買掛金113百万円であります。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ251百万円増加し、4,165百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の33.5%から38.3%となっております。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前年同期と比較して300百万円増加し、2,721百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して157百万円減少し、218百万円の流入となりました。主な流入要因は、税金等調整前当期純利益265百万円、減価償却費263百万円、補助金の受取額146百万円及び減損損失116百万円です。一方、主な流出要因は、法人税等の支払額276百万円、補助金収入146百万円、賞与引当金の増減額（△は減少）138百万円及び仕入債務の増減額（△は減少）106百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、142百万円の流入（前年同期は164百万円の流出）となりました。主な流入要因は、有形固定資産の売却による収入200百万円及び保険積立金の増減額（△は増加）167百万円です。一方、主な流出要因は、有形固定資産の取得による支出203百万円及び無形固定資産の取得による支出104百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、61百万円の流出（前年同期は370百万円の流出）となりました。主な流出要因は、リース債務の返済による支出166百万円及び配当金の支払額109百万円です。一方、主な流入要因は、短期借入金の純増減額（△は減少）300百万円です。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	27.8	31.1	33.5	38.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	94.4	71.1	43.0	50.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	205.4	374.3	401.5	752.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	43.1	24.0	22.0	10.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：（（期首有利子負債＋期末有利子負債）／2）／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3 キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、感染症の拡大防止策の継続や、ワクチン接種が開始されたことなどを背景に経済活動の回復が期待されるものの、顧客企業における投資抑制の長期化や、外出自粛及びテレワークの定着に伴う駐輪場利用の減少などにより、一定の影響を受ける可能性があります。

IT関連事業（システム開発事業、サポート&サービス事業）においては、顧客企業によるDXへの取り組みが継続されることに加え、テレワークの浸透などを背景とした保守・運用業務のアウトソーシングが増加していることなどから、IT投資は総じて増加傾向で推移することが見込まれます。

パーキングシステム事業においては、大型受注が業績に寄与する一方で、緊急事態宣言の発出等に伴う、駐輪場利用料収入及び新規案件の減少による影響を織り込んでおります。今後につきましては、外部環境の変化や需要変動に柔軟に対応できる収益基盤を確立すべく、事業の構造改革を迅速に推進してまいります。

以上により、2022年3月期通期連結業績につきましては、下表のように見込んでおります。

(2022年3月期 通期連結業績予想)

(単位：百万円)

	2022年3月期 予想
売上高	19,200
営業利益	650
経常利益	670
親会社株主に帰属する 当期純利益	450

上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、感染症の拡大や収束の状況などによって業績は大きく変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針としてまいりました。今後におきましても本基本方針のもと、適切な利益還元を実施していく所存です。

上記方針に基づき、2021年3月期の期末配当につきましては、業績動向や配当性向などを総合的に勘案した結果、普通配当を1株当たり7円といたしました。

これにより、2021年3月期の年間配当は、既に実施した中間配当7円と合わせ、1株当たり14円となります。

なお、2022年3月期の年間配当は、1株当たり普通配当14円（中間配当7円、期末配当7円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいことから、会計基準につきましては当面、日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用については、今後の情勢を見ながら適切に判断していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,610,806	2,835,112
受取手形及び売掛金	2,782,706	2,766,487
商品及び製品	61,591	62,973
仕掛品	161,510	122,710
その他	1,028,791	992,701
貸倒引当金	△524	△11,449
流動資産合計	6,644,881	6,768,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	586,835	594,653
減価償却累計額	△211,779	△246,368
建物及び構築物（純額）	375,056	348,285
車両運搬具	3,022	2,644
減価償却累計額	△2,043	△2,012
車両運搬具（純額）	979	632
工具、器具及び備品	470,235	422,435
減価償却累計額	△388,568	△365,704
工具、器具及び備品（純額）	81,666	56,730
土地	482,259	482,259
リース資産	747,782	739,374
減価償却累計額	△323,127	△423,081
リース資産（純額）	424,655	316,293
建設仮勘定	21,035	29,120
有形固定資産合計	1,385,653	1,233,321
無形固定資産		
のれん	32,010	21,340
その他	80,499	150,201
無形固定資産合計	112,509	171,541
投資その他の資産		
投資有価証券	436,637	440,526
繰延税金資産	914,660	825,126
リース債権及びリース投資資産	1,517,658	954,050
その他	605,734	423,128
投資その他の資産合計	3,474,691	2,642,832
固定資産合計	4,972,854	4,047,694
資産合計	11,617,735	10,816,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	812,272	699,049
短期借入金	907,301	1,207,368
1年内返済予定の長期借入金	85,000	30,000
リース債務	834,144	699,608
未払法人税等	169,738	46,558
賞与引当金	527,514	389,177
受注損失引当金	-	4,042
株式報酬引当金	81,365	-
その他	894,090	900,865
流動負債合計	4,311,427	3,976,670
固定負債		
長期借入金	30,000	-
リース債務	1,854,728	1,273,107
役員退職慰労引当金	72,992	30,244
退職給付に係る負債	1,262,360	1,202,251
資産除去債務	133,664	130,461
その他	39,110	38,440
固定負債合計	3,392,855	2,674,504
負債合計	7,704,282	6,651,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,750	438,750
資本剰余金	903,593	954,989
利益剰余金	2,900,018	2,933,551
自己株式	△317,463	△269,509
株主資本合計	3,924,897	4,057,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,333	40,271
為替換算調整勘定	△677	△557
退職給付に係る調整累計額	△44,998	42,565
その他の包括利益累計額合計	△28,342	82,279
非支配株主持分	16,897	24,993
純資産合計	3,913,452	4,165,053
負債純資産合計	11,617,735	10,816,229

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	18,390,008	17,563,151
売上原価	15,246,743	15,055,258
売上総利益	3,143,264	2,507,893
販売費及び一般管理費		
役員報酬	186,799	179,185
給料及び手当	673,701	752,564
賞与引当金繰入額	79,174	69,911
退職給付費用	50,402	48,635
役員退職慰労引当金繰入額	8,693	6,202
株式報酬引当金繰入額	8,584	17,985
貸倒引当金繰入額	524	11,449
その他	1,198,896	1,179,450
販売費及び一般管理費合計	2,206,776	2,265,384
営業利益	936,488	242,508
営業外収益		
受取利息	66	88
受取配当金	5,975	9,938
補助金収入	15,677	134,328
その他	30,020	31,083
営業外収益合計	51,739	175,439
営業外費用		
支払利息	17,299	20,021
解約手数料	4,052	-
和解金	-	4,000
その他	13,320	5,071
営業外費用合計	34,671	29,093
経常利益	953,555	388,854
特別利益		
固定資産売却益	-	458
投資有価証券売却益	92,500	2,269
補助金収入	-	12,000
特別利益合計	92,500	14,728
特別損失		
固定資産圧縮損	-	12,000
固定資産除却損	3,935	-
減損損失	39,526	116,310
その他	-	9,276
特別損失合計	43,461	137,586
税金等調整前当期純利益	1,002,593	265,996
法人税、住民税及び事業税	317,301	72,291
法人税等調整額	32,211	39,988
法人税等合計	349,513	112,280
当期純利益	653,080	153,716
非支配株主に帰属する当期純利益	4,897	8,095
親会社株主に帰属する当期純利益	648,183	145,620

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	653,080	153,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,437	22,937
為替換算調整勘定	309	120
退職給付に係る調整額	△36,671	87,564
その他の包括利益合計	△81,799	110,622
包括利益	571,281	264,338
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	566,384	256,242
非支配株主に係る包括利益	4,897	8,095

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	438,750	903,593	2,363,014	△317,463	3,387,893
当期変動額					
剰余金の配当			△111,179		△111,179
親会社株主に帰属する当期純利益			648,183		648,183
自己株式の取得					
自己株式処分差益					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	537,003	-	537,003
当期末残高	438,750	903,593	2,900,018	△317,463	3,924,897

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	62,771	△987	△8,326	53,456	12,000	3,453,350
当期変動額						
剰余金の配当						△111,179
親会社株主に帰属する当期純利益						648,183
自己株式の取得						
自己株式処分差益						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△45,437	309	△36,671	△81,799	4,897	△76,901
当期変動額合計	△45,437	309	△36,671	△81,799	4,897	460,102
当期末残高	17,333	△677	△44,998	△28,342	16,897	3,913,452

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	438,750	903,593	2,900,018	△317,463	3,924,897
当期変動額					
剰余金の配当			△112,087		△112,087
親会社株主に帰属する当期純利益			145,620		145,620
自己株式の取得				47,953	47,953
自己株式処分差益		51,396			51,396
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	51,396	33,533	47,953	132,883
当期末残高	438,750	954,989	2,933,551	△269,509	4,057,781

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	17,333	△677	△44,998	△28,342	16,897	3,913,452
当期変動額						
剰余金の配当						△112,087
親会社株主に帰属する当期純利益						145,620
自己株式の取得						47,953
自己株式処分差益						51,396
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22,937	120	87,564	110,622	8,095	118,718
当期変動額合計	22,937	120	87,564	110,622	8,095	251,601
当期末残高	40,271	△557	42,565	82,279	24,993	4,165,053

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,002,593	265,996
減価償却費	204,899	263,815
減損損失	39,526	116,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△997	10,924
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,839	△138,337
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△947	4,042
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,873	66,064
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△114,820	△42,748
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	8,584	-
受取利息及び受取配当金	△6,042	△10,026
補助金収入	-	△146,328
支払利息	17,299	20,021
売上債権の増減額 (△は増加)	△89,328	16,151
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,385	37,400
仕入債務の増減額 (△は減少)	43,287	△106,930
未払消費税等の増減額 (△は減少)	42,636	△21,281
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△53,568	△82,928
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△159,778	31,751
その他	△46,891	74,517
小計	804,356	358,415
利息及び配当金の受取額	6,042	10,026
利息の支払額	△17,074	△20,102
補助金の受取額	-	146,328
法人税等の支払額	△417,199	△276,462
法人税等の還付額	-	250
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,123	218,457
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△208,207	△177,075
定期預金の払戻による収入	208,201	177,071
定期預金の解約による収入	-	76,211
有形固定資産の取得による支出	△396,545	△203,123
有形固定資産の売却による収入	226,806	200,370
無形固定資産の取得による支出	△32,741	△104,550
投資有価証券の償還による収入	100,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	14,667	-
保険積立金の増減額 (△は増加)	△19,819	167,275
その他	△56,681	6,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,319	142,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	300,067
長期借入金の返済による支出	△135,000	△85,000
リース債務の返済による支出	△126,653	△166,705
配当金の支払額	△108,970	△109,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370,624	△61,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	△476	543
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△159,296	300,512
現金及び現金同等物の期首残高	2,579,896	2,420,599
現金及び現金同等物の期末残高	2,420,599	2,721,112

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「システム開発事業」「サポート&サービス事業」「パーキングシステム事業」の3つを報告セグメントとしております。

「システム開発事業」は、システム開発及びシステム維持のサービスを提供しており、コンサルティング、システムインテグレーションサービス、パッケージソリューションサービス及びアプリケーションシステムの運用・保守を行っております。「サポート&サービス事業」は、テクニカルサポートサービス、ヘルプデスクサービス、アウトソーシングサービス及びシステム等管理運営を提供しております。「パーキングシステム事業」は、自転車駐車場管理システムの販売及び運営、並びにこれらに関するコンサルティング、関連商品の販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	システム 開発事業	サポート& サービス事業	パーキング システム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,073,439	4,568,625	6,693,591	18,335,656	54,351	18,390,008	—	18,390,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	15,020	15,020	△15,020	—
計	7,073,439	4,568,625	6,693,591	18,335,656	69,371	18,405,028	△15,020	18,390,008
セグメント利益又 は損失 (△)	799,076	224,005	944,426	1,967,509	△14,377	1,953,131	△1,016,643	936,488
その他の項目								
減価償却費	20,295	9,114	145,041	174,451	102	174,554	30,345	204,899
のれんの償却額	—	—	10,670	10,670	—	10,670	—	10,670
減損損失	—	—	39,526	39,526	—	39,526	—	39,526

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。なお、減価償却費については各セグメントに配分しておりますが、セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象としていないため、記載を省略しております。
3 セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	システム 開発事業	サポート& サービス事業	パーキング システム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,405,595	5,072,818	5,060,979	17,539,393	23,758	17,563,151	—	17,563,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	3,861	3,861	△3,861	—
計	7,405,595	5,072,818	5,060,979	17,539,393	27,620	17,567,013	△3,861	17,563,151
セグメント利益又 は損失 (△)	928,997	481,679	13,941	1,424,618	△3,032	1,421,586	△1,179,077	242,508
その他の項目								
減価償却費	53,822	18,563	156,641	229,027	38	229,066	34,749	263,815
のれんの償却額	—	—	10,670	10,670	—	10,670	—	10,670
減損損失	—	—	116,310	116,310	—	116,310	—	116,310

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。なお、減価償却費については各セグメントに配分しておりますが、セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象としていないため、記載を省略しております。
3 セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	490円66銭	512円95銭
1株当たり当期純利益	81円62銭	18円11銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	648,183	145,620
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	648,183	145,620
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,941	8,036

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,913,452	4,165,053
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	16,897	24,993
(うち非支配株主持分(千円))	(16,897)	(24,993)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,896,554	4,140,060
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	7,941	8,071

(重要な後発事象)

該当事項はありません